

SecureCore Standard Edition



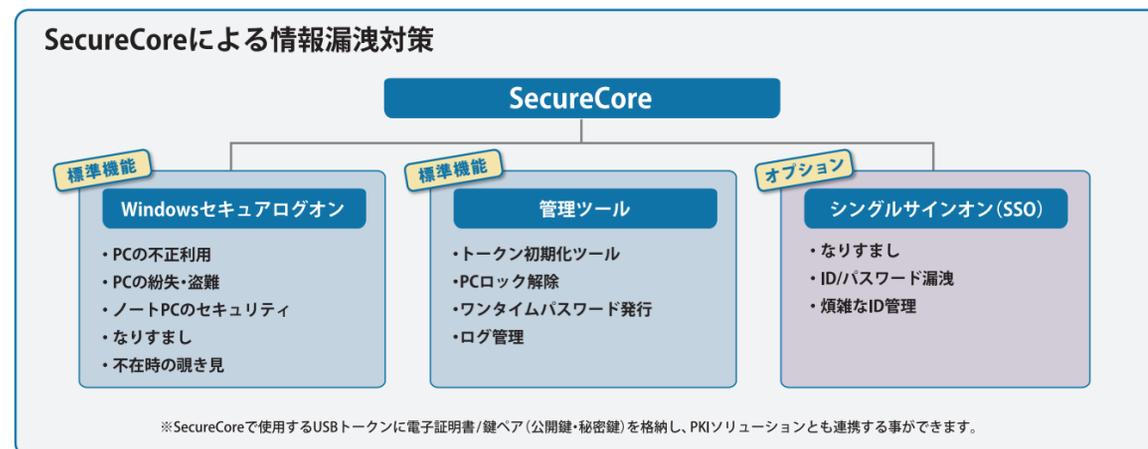
USBトークンを利用した情報漏洩対策ソリューション

- USBトークンを利用してWindowsセキュアログオン、PCロック、シングルサインオンを実現
- USBトークン内に電子証明書を格納し、PKIソリューションとも連携可能



Standard Edition

SecureCore Standard Editionは1本のUSBトークンでWindowsログオン、PCロック、シングルサインオン、実現する総合PCセキュリティソリューションでID/パスワード+USBトークンという強力な認証方式を実現し、情報漏洩対策に最適なソリューションを提供します。



SecureCore Standard Editionの機能

標準機能 Windowsセキュアログオン/PCロック



USBトークンによるセキュアログオン

USBトークンを物理的な「鍵」としてログオンします。USBトークンを挿入しないとログオンできず、USBトークンを抜くと自動的にPCロックがかかります。

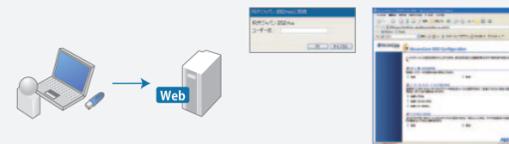
標準機能 管理ツール



大規模導入にも対応できる容易な管理機能

- ・トークン初期化ツール
- ・ワンタイムパスワード発行
- ・PCロック解除
- ・ログ管理

オプション1 シングルサインオン



容易に利用できるシンプル設計

様々なWebサイトへのユーザーID・パスワードをUSBトークン内に格納し、認証時に自動的に送出することができます。

オプション2 電子証明書 / 認証情報の格納



機密情報をセキュアに格納

ePass1000USBトークンに電子証明書や認証情報をセキュアに格納させる事ができ、様々なPKIソリューションを連携できます。

SecureCore Standard Editionのその他の機能

管理ツール

USBトークンの初期化、ロックの解除、ワンタイムパスワード(OTP)の発行、ログの確認などをする事ができます。

ログ管理

いつ、誰が(どのUSBトークンで)、どのようにPCを利用したかをログに記録する事ができ、管理者は管理ツールでログを解析することができます。

ワンタイムパスワード(OTP)

USBトークン紛失時にはワンタイムパスワードでログオンできます。また、Windowsのセーフモードにも対応し、不正利用を強固に防止します。

サイレントインストール機能

導入時やマスターPCなどの作成時に便利な「サイレントインストール」モードを標準搭載。インストール時に指定するオプションを事前に設定できます。

機能の追加

SecureCoreでは機能を選択する事ができ、既存のSecureCoreをアンインストールすることなく、後から追加機能を導入する事も可能で、段階的にPCのセキュリティを高める事ができます。

動作環境

	クライアント
サポートOS	Windows 2000 Professional SP4 Windows XP 32bit SP2 / SP3 Windows Vista 32bit SP1 / SP2 Windows 7 (32bit / 64bit)
CPU	PentiumII266MHz以上を推奨
メモリ	64 MB
ハードディスク	20 MB以上の空き容量
ブラウザ	IE6.0以上
その他	USB2.0 / 1.1ポートが1ポート空いていること

詳しくは、WEBサイトでもご覧頂けます。 <http://www.ftsafeco.jp/>